

2026年3月18日

[配信枚数1枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

「教育データサイエンス人材育成プログラム」で 初の修了生が誕生 —「教育データサイエンス」を実践する教員養成—

大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）が2024年4月から実施している「教育データサイエンス人材育成プログラム〔後述参照〕」において、初の修了生が誕生します。

本プログラムの修了者には、専修免許状（大学院修了程度の教員免許状）に「教育データサイエンス」が付記されます。

本制度は、滋賀県教育委員会と滋賀大学が協力して日本で初めて取り組むものです。

学位授与式：2026年3月26日（木）13時から 於：びわ湖ホール

修了生7名（現職教員学生3名、学部新卒学生4名）が出席予定

主なテーマ（例）：

「教員のアシスタントとしての生成AI活用に関する実践的研究」

「教育データサイエンスの視点を取り入れた意思決定モデルの開発に向けた実践的・実証的研究」

「PISA2015 科学的リテラシー分野の得点と学習状況・環境との因果関係の解」

〔教育データサイエンス人材育成プログラムについて〕

本学は、国内でいち早くデータサイエンス教育に取り組んできた大学として、その知見を教員養成に生かし、教職大学院において教育データサイエンス人材育成プログラムを開設しました。経験や勘だけに頼るのではない「エビデンスに基づく教育」(Evidence-Based Education)への期待が高まるなか、本プログラムでは、学習履歴や教育活動データなどを分析・活用し、授業改善や個別最適な学びの実現につなげる力を持つ教員を育成しています。

初の修了生は、今後、学校現場におけるデータ活用を推進する人材としての活躍が期待されます。

●本件に関するお問い合わせ先

滋賀大学教育学部教務係 担当：沼田（教職大学院担当）

TEL：077-537-7860 E-mail：apdt@edu.shiga-u.ac.jp